



エミールだより

6月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「具体物から抽象の世界へ」

日中はいささか汗ばむほどの暑さとなり、いよいよ夏が間近になってきました。それに伴って、子どもたちの活動もますます活発さを見せています。「子どもは遊びの天才」といわれませんが全くそのとおりで、何に興味を持ちどんなことをしたいのかがはっきりしています。目的を持ち理にかなった活動だからこそ、遊びが成長をもたらししてくれるのでしょう。生き活きとして満足した表情が、よくそれを物語っています。

ところで私は最初に、今回のテーマを「ランドセルのなかみは何だろう」にしようとしていました。というのも、教科書とは文字や数字や図形などがいっぱいあった抽象の世界だからです。6歳になった子どもたちは小学校へ行って、この教科書を使って学んでいきますが、ほんの6年前はどうだったのでしょうか。どんなことや物でも、見たり聞いたりしただけでは理解することができず、口に入れたり手で触れたりしながら、少しずつ環境に慣れていきました。こんな100%具体物の世界にいる子どもを、たった6年間で教科書が使えるようになるためには、乳幼児に無理のない混乱させないやり方で、上手に導いていかなければなりません。

モンテッソーリ教育で活用する教具・教材は、この点について実にうまく構成されています。日常生活の練習をはじめとして、感覚・算数・言語の各分野には、「系統性（順序を表す道すじ）」があり、この道すじをきちんとたどっていけば、子どもたちはいつの間にか抽象の世界へ入っていきけるのです。

ここで数の世界の例を挙げて、道案内をしてみましょう。

- ① 感覚教具の「ピンクタワー」や「赤い棒」で、「大きい・小さい」「長い・短い」を感じる。
- ② 「算数棒」「数字カード」「金ビーズ」で、物の大小や数字の呼び方を知る。
- ③ 「金ビーズ」「色ビーズ」「セガン板」を使って、10進法や繰り上がり・足し算・引き算の方法を知る。
- ④ さらに「切手あそび」「へびあそび」で、加減・乗除の方法を学ぶ。
- ⑤ 「足し算板」や「かけ算板」などを使って、記憶を必要とする加減乗除を行う。
- ⑥ 教具を使わずに数字の操作ができるようになる。

このように、ひとつひとつが決して難しいものではなく、良く理解できる道すじを通して抽象の世界に入れば、上手に話しをしたり文章を書いたりすることが大好きになります。こんな子どもたちの変化を楽しみながら見守っていきましょう。（園長より）

「自然観察遠足」のお知らせ



今月は子どもたちが自然と触れ合う自然観察遠足へ行きます。全園児「もーもーらんど」へ行きます。豊かな自然の中で1日楽しみたいと思います。

日程：6月13日(木) 9:20出発

場所：もーもーらんど

乗り物：貸切バス

参加者：1・2・3・4・5歳児

お弁当の用意をお願いします。保護者の引率は必要ありません。詳しいご案内は6/6(木)に配布致します。

6月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	園外散歩(給食)
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	歯科検診 0・2・4・5歳児
12	水	
13	木	自然遠足(弁当)
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	個人懇談(5歳) のぼらコンサート
18	火	
19	水	ふわふわルーム
20	木	ペアレントツクス
21	金	避難消火訓練
22	土	
23	日	
24	月	誕生会
25	火	
26	水	
27	木	プール開き
28	金	
29	土	
30	日	

<幼児特別指導>

体育教室 5歳児

7・14・21・28日金曜日

絵画教室 5歳児 20日 午後

4歳児 20日 午前